

校長通信

## ぽかぽか便り No.15

天理市立井戸堂小学校

令和4年11月8日

文責 阪本 真紀子



11月7日(月)の全校朝会は、久しぶりにMeetで外から学級のテレビにつないで行いました。なぜかという、紹介したいものが2つ外にあったからです。

### その1 食物残渣発酵分解装置！

しょくもつざんさはっこうぶんかいそうち

9月から給食室横にバリケードがはられて工事が始まりました。10月中旬には、できた基礎の上に銀色の機械が取り付けられました。それが食物残渣発酵分解装置です。いったい何なのか、中はどうなっているのか、なぜ置かれることになったのか気になっていた人もいたのではないのでしょうか。ということでざっと紹介しました。



機械の上に大きなふたがついています。それを開けると茶色いもみがらが入っていました。そこに、給食で出た野菜くず(昨日の給食では、白菜の葉の外側の部分)や残念ながら食べ残してしまった給食を入れます。これらは捨てる为生ごみとなり燃料を使って燃やさなくてはなりません。燃やすと二酸化炭素が発生します。この二酸化炭素は現在大変な問題となっています。地球温暖化や異常気象などの原因ともされていて、急ぎ世界規模で二酸化炭素を減らさないと、自然を破壊したり人間がこれまでのように生きていけなくなったりしてしまうのです。これからみんなが生きていくうえで避けては通れない問題です。

ですがここにスプーン1ぱいの粉(微生物)を入れ機械を動かすと、微生物の酵素の働きで入れたものを発酵させ、なんとたい肥のもとができるのです。それを提携している企業に取りに来て工場ですらに発酵させ、たい肥が出来上がります。それを畑などにまくと野菜がよく育ちます。たい肥とは自然の肥料のようなものなので、土も元気になり植物がよく育ちます。つまり、捨てる二酸化炭素を発生させてしまうのではなく、環境にやさしくリサイクルできるというわけです。すごいですね。この機械の活用方法などをまたみんなと考えていきたいと思っています。アイデア募集です。

### その2 美化・栽培ボランティアさんによる新しい花壇！

食物残渣発酵分解装置の少し北側に、もう一つ紹介したいものがありました。北門を通る人は気づいていたでしょうか。これまで草が生えては刈ることを繰り返していたちょっとした空き地のような場所に、新しい花壇ができていたことに。何かが植えられていることに。

この花壇は、美化・栽培ボランティアさんが中心となり作ってくださったものです。植えられていたものは菜の花の苗です。ボランティアさんがたくさん苗をお家で育て持ってきてくださいました。

作業は、一部子どもたちも手伝ってくれました。北門から給食室までちょっと殺風景だったので、なんだかワクワクします。ありがとうございます。楽しみです。ちなみに、植物は二酸化炭素を取り込んで酸素を出します。

